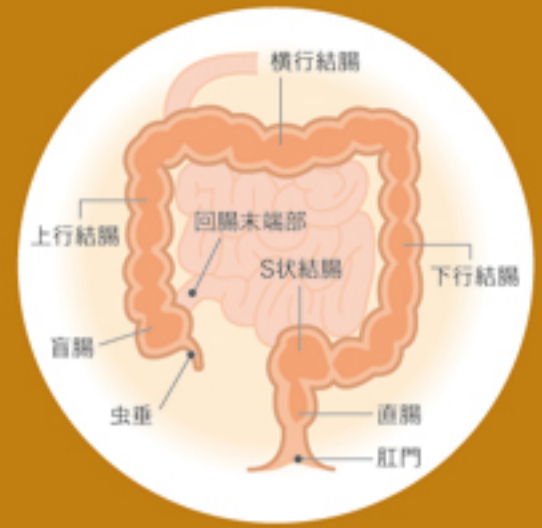


大腸がん 検診

大阪では大腸がんにかかる人が、過去30年間で約7~8倍に増加しています!

早期で見つけると、ほぼ100%完治します!



40歳以上の方は、年1回検診を受けましょう!

一次検診 (スクリーニング検査)

問診

既往歴や自覚症状などをおたずねします。

便潜血検査

がん、ポリープなどは出血する傾向が強いのですが、必ずしも目に見えるところとはかぎりません。便潜血検査では、このような見えない出血も発見することができます。

二次検診 (精密検査)

大腸内視鏡検査

肛門から内視鏡を入れて、腸の中を直接見て調べます。また、必要に応じて病変部の粘膜を採って、悪性の組織がまじっていないか調べることもあります(生検:組織診断法)。

*検査前には、大腸の中をカラにするために前処置が必要です。

こんな症状にご注意

便が細くなる、残便感、腹痛、頑固な便秘、下痢と便秘の繰り返し、血便。

★盲腸や上行結腸など肛門より遠い場所にがんができると、血便を自覚することは少なく、貧血や腸閉塞による嘔吐で見つかることもあります。

便潜血検査は食事を気にすることなく、少量の便を採るだけで調べられます!



大腸がん検診 Q & A

Q 便潜血検査が陽性といわれました。もう一度便潜血検査を受けたいのですが、いいですか?

A 便潜血検査の再検査は絶対にせず、直ちに精密検査を受けてください。がんやポリープなどがあっても、毎日出血しているわけではありません。たまたま便に血液が混じっていなかったり、血液の混じっていない場所から採便すると陰性になります。また、進行がんでも、検査を繰り返せば陰性となることがあります。

Q 便潜血検査が陽性といわれました。症状もなく、痔からの出血と思うので、精密検査を受けなくてもいいですか?

A 早期のがんの多くは、自覚症状がありません。また、痔とがんの両方を持っている人もあり、痔と自己判断して治療が遅れる場合も少なくありません。そのため痔や症状がないからと安心せず、精密検査を受けましょう。

Q 便に血が混じっています。検診を受けた方がいいですか?

A はっきりとした血便がある場合は便潜血検査をうけず、最初から医療機関で精密検査を受けましょう。